

神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL: 045-663-4061 FAX: 045-663-4062
メール: nenkinanagawa@nifty.com

9月6日現勢 組合員 10,045人
機関紙 6,321部
年金改善署名 77,361筆



神奈川県版 第277号 2011年9月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20天塚駅前ビル
TEL. 03 (5978) 2751 FAX. 03 (5978) 2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

実りの秋に500人を増やす

楽しくおおらかな取り組みで 支部活動交流集会以約束

民主党政府は財界の利益を第一に、大震災復興、原発事故の復旧を、庶民からしほりとる消費税や所得税など大増税で賄おうとしています。

中央本部は最低保障年金制度の実現をはじめ、高齢者のくらしと健康を

守るためにも、私たちの力を強めなければと、6年間で2倍の20万人組織づくりを提起しました。この呼びかけにこたえて神奈川県本部では、第二次県本部総合計画を策定しますが、10、11月の秋の仲間づくり月間では、500人を増やして、1万5000人の組織作りを

取り組むことにしました。9月1日には全県の42支部（1支部欠席）代表約100人が参加して、「秋の月間成功をめざす支部活動交流集会」を開きました。

激励に駆け付けた 中央本部 篠塚委員長

実力最高レベルの神奈川県が力を発揮すれば、秋の仲間づくりは成功します。全ての支部が99年1%を達成すること。特に神奈川県は素晴らしい女性の活動を一層活発に、機関車の役割を果たして下さい。



年金者組合が独自に取り組む3500人の集会。会議では100人以上の支部は5人、300人未満は10人、300人以上の支部は15人を必ずやり切ることを約束。実りの秋はサークルや旅、ハイクが花盛り、楽しみながらおおらかに仲間を増やしていくことにしました。

2011年 年金者一揆

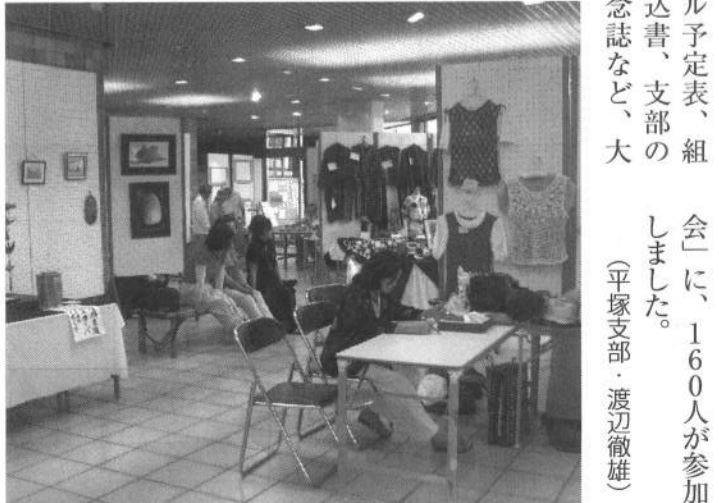
日時 10月14日(金) 11時
会場 東京・明治公園
参加 神奈川県10000人
今から予定して成功を。

悲惨な戦争を忘れない 鎌倉支部が冊子を発行

憲法施行65年。憲法改悪の動きに、戦争の悲惨さを伝えなくては、引き継がなければ、こんな思いで発行しました。22人の方々の体験と、20以上のコラム「鎌倉と戦争」を織り交ぜました。若い少年少女が、軍国少年少女となるのはさほど時間ばかりからず、環境や、教育の影響ですぐに洗脳されてしまう。「みんなが同じ運命を辿るのだから」

平塚支部の創作展 1300人以上が訪れる 作品も好評で売り切れ

平塚市民プラザで「支部結成20周年記念、東日本大震災救援、第5回文化創作展」(8月25日〜30日)が開かれました。600点を越す陶芸、絵画、写真、吊し籠、ちぎり絵、書、折り紙、手芸、俳句、絵手紙、古布の会の作品が展示されました。連日200人以上の入場者があり、作品が次々に売れて展示品がなくなるとい嬉しい悲鳴も。支部の紹介コーナーでは、支部の新聞、女性の会の「しゃぼん玉」やサークル予定表、組合加入申込書、支部の20周年記念誌など、大勢の人が持つて行きました。5人が加入しました。入場者は前回は上回る1332人でした。29日は近くの崇善公民館で「いきいき芸能大



核兵器・脱原発の世界に 原水禁大会 in 長崎

「核兵器のない平和で公正な世界を」テーマに8月7日〜9日まで、7800人が被爆地ナガサキに集合。「原水爆禁止2011年世界大会in長崎」が盛大に行われました。特に今年は福島原発の深刻な問題が取り上げられ、被災地の救援、復興も合わせてテーマになりました。会場は世界そして日本各地の代表がメインスピーカーとなり、脱原発、脱核兵器、核廃絶の熱い発言が続き、気持ちを一つにした参加者から、賛同の大拍手。日本子ども、世界の平和を守るための力強い大会で終わりました。(茅ヶ崎支部・飛川冊子)

横須賀母港のGW 即時撤去を訴える 原水禁長崎大会

今年の世界大会は3月11日、東日本大震災がもたらした、東電福島第一原発での最悪レベルの過酷事故が発生し、大量の死の灰が空中、海水の中にまき散らされ続けている中で行われた大会であり、原爆も原爆もいらな

いと盛り上がりました。私は原発事故の直後でもあり、パネル討論「原発エネルギー問題」の分科会に参加しました。3人のパネリストから福島原発事故の脅威について話があり、共産党国會議員吉井英勝さんは

2005年スマトラ沖地震以降津波対策を波及してきた。福島原発は完全に人災である。イタリアの物理学者からは原発反対の国民投票で勝利したことが報告されました。神奈川県代表団は横須賀の原子力発電母港ジョージ・ワシントンが、首都圏の3300万人の命を脅威にさらされている。一日も早く撤去するよう訴えてきました。(瀬谷支部 小池恒彦)

申込先 〒247-0061 鎌倉市台5-10-39 田口 清
メール k-r.taguchi@kamakuranet.ne.jp

長期国民年金を未納した人

救済措置が2年から10年に

未納分追納で年金復活

国民年金の未納保険料を追納できる期間が、現行の2年から10年に延長する「年金確保支援法」が8月4日に成立しました。ただし実施は2012年10月1日までの政令で定める日から3年間の時限措置となっています。

この法律でたとえば1952年（昭和27年）11月生まれのA男さんは、高校卒業後就職し、厚生年金に15年間加入しました。33歳で脱サラして自営業となり、国民年金に加入しました。国民年金を3年間は納付しましたが、営業不振で36歳ころから未納になっていきます。来年60歳となりますが、現状では受給資格がありません。

今回の法改正でA男さんは、過去の未納期間のうち6年分を追納すれば、6年分の追納保険料はかなりの金額となります。60歳年金額30万円、厚生年金と60歳から老齢基礎年金を併せて約80万円が支給されることとなります。

年金組合で該当する人に知らせ、この法律を有効に活用しましょう。

（夏野弘司）

本場の郡上踊りでお墨付の免許状

鎌倉踊りサークル

郡上おどり保存会から「郡上踊りを習得しました」という免許状をもらったことです。

一昨年も踊ったのですが張り切って踊ったのにだれも免許状をもらえなかったのです。参加者一同、ご指導をいただいた二見先生に良いお土産ができた、わがことのように大喜びでした。

今年の郡上八幡への旅行は踊りのほかに郡上市内や岐阜城の見学、高

女雀士に男たじろじ 楽しさ満貫の麻雀クラブ

茅ヶ崎支部に麻雀クラブが誕生してから2年半、当初は1〜2卓でしたが最近では愛好者が増えて3〜4卓になりました。

特に女性の参加がめざましく各卓とも男1人女3人の組が珍しくありません。元白魚のような指で洗パイも上がりましたが口も達者になり、サロンは忽麻薬のようなハイになり、雀のように賑やかです。

男性軍はナデシコ雀士達に勝負で



若返り麻雀は女性の天下

も、口でも負けることが多く歯ざりしてきます。毎回お菓子、料理、飲み物などの差し入れがあり、口も手先も忙しい、

（茅ヶ崎支部 内田敬三）

新加入組合員を歓迎 元気の出る明るい会

川崎多摩支部

多摩支部では、毎年春の仲間づくり月間が終わったところで、新しく加入された組合員さんの歓迎会をしています。今年8月21日（日）に中野島会館で34人（新人7人）が集まり、新加入者を歓迎しました。

第一部では、支部長から支部の概況と最低保障年金の話がありました。2部の懇親会では役員から歓迎の気持ちを込めて自己紹介。続いて新加入者からは期待を込めた全員の自己紹介となりました。そのあとは、踊りの会

支部の郡上踊りサークルのメンバーを中心に、8月3日から5日まで本場郡上踊りに行ってきました。今回特筆したいのは山内寿代さんが「げんげんばらばら」と「さわぎ」という踊りで、



本場の郡上踊りに満足

が和服姿を涼やかに踊りを披露すれば、爆笑誘う手品。元気なギター弾き語り演奏とつづき最後は新会員のピアノ伴奏で合唱しました。新加入者の参加は多くありませんでしたが比較的若い人が多く、「楽しくて頼りになりそうな会なのでこれから楽しんでみます」と喜んでくれました。

（川崎多摩支部 阿部進二）



山朝市で買い物など、楽しみがいっぱいでした。

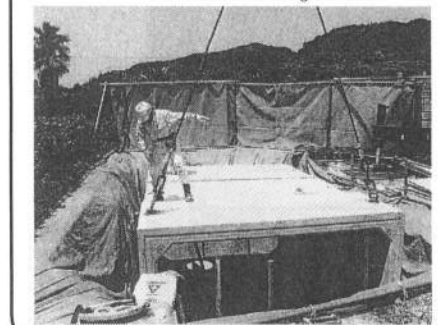
（鎌倉支部 吉原捷利）

楽しく読まれる紙面に初の県機関紙交流会

なかま全員参加の組合づくりで、大きな役割を持つ機関紙を、より読みやすい明るいものにと、8月30日、初の県機関紙交流会が開かれました。

編集者の高齢化で後継者ができない。パソコン編集は難しいなどの苦労話が出ましたが、みんなに読まれる機関紙づくりは生甲斐のある仕事。編集の腕を磨き頑張ろうと元気が出た会議でした。

モニUMENTには大貫副委員長の揮毫で「ありがとう年金者組合の仲間たち」と刻まれます。11月11日には有効団体のご来賓と県本部役員および支部代表者で記念式典を行います。9月以降も墓所の受付を随時行います。



いよいよ完成へ！

共同墓所

年金者組合の創立20周年記念事業の「共同墓所」建設工事は急ピッチで進み、今秋完成の見込みです。8月末で第二次募集は締め切りしました。応募者は340人で、新規組合員も30人増えました。

11月18日 第1回墓前祭

10時半から12人の方の納骨式を行い、11時から墓前祭、午後からは「よこすか平安閣」で懇親会。会費は3千円で懇親会に案内状を郵送します。会員以外も歓迎します。

ありがとうございます 年金者組合の仲間たち

神奈川年金者文芸

- （俳句） 秦野支部 鷲尾紀代子
冷奴の塗着ぬける舌ざわり
物価高世界の民衆怒りだし
旭支部 毛利やすひこ
- 参道の寺坂長し白日出傘 秦野支部 松本 サト
旭支部 本間鈍根花
誉め殺しナデシコ潰すメディア達
川崎麻生支部 阿部 和子
- FUKUSHIMAは世界語となり夏地獄 秦野支部 福田まもる
終戦時戸板に一山海草編
横浜緑支部 吉田 一夫
- 江戸風鈴心して吹く風もあり 平塚支部 坪井 稔恭
守銭奴よ脂肪を削いで東北へ
秦野支部 平野雄一郎
- 水明かり乱れ始めし大文字 平塚支部 高橋 福松
復興のまず手初めは永田町
（短歌）
厚木支部 飯嶋 マサ
家に待つ夫の肴購へる
主婦に戻りて湯の街を去る
- トンネルを抜けて一変夏の霧 平塚支部 寺田 公明
- 水をくれ河童皿出す土用かな